別添

福井まちなかキャンパス造作物設計・製作・設置業務
仕様書

１　業務名

福井まちなかキャンパス造作物設計・製作作・設置業務

２　目的

本業務は、福井まちなかキャンパスのイノベーションクロス（学生ホール）の段床ベンチおよび本棚ならびに大学情報発信拠点となるFPU BASEの造作物について、施設の用途、利用形態および設置場所の条件等を踏まえ、設計、製作、運搬、搬入および設置を一体的に実施するものである。

３　履行場所

福井県福井市手寄１丁目４番１号
公立大学法人福井県立大学　福井まちなかキャンパス
（詳細な設置場所は、別紙平面図のとおりとする。）

４　履行期限

令和９年３月１２日

５　対象造作物

本業務の対象とする造作物は、次のとおりとする。

(1) イノベーションクロス
ア　段床ベンチ　１式
イ　本棚　１式

(2) FPU BASE造作物
ア　パンフレット棚　１式
イ　学部紹介ブース　６台
ウ　福井県マップ　１式
エ　教員著書展示用棚　１式

各造作物の設置場所、用途、概略寸法、必要な機能、材質その他の基本条件については、本仕様書ならびに別紙「造作物基本仕様（イノベーションクロス）」および別紙「造作物基本仕様（FPU BASE）」のとおりとする。

６　業務内容

受注者は、本仕様書、別紙「造作物基本仕様（イノベーションクロス）」、別紙「造作物基本仕様（FPU BASE）」、参考図その他発注者が示す条件に基づき、次の業務を行うこと。

(1) 設置場所の現地確認および採寸
(2) 各造作物の詳細設計
(3) 製作図、施工図その他必要な図面の作成
(4) 形状、寸法、材料、仕上げ、色彩、取付方法等に関する発注者との協議および調整
(5) 造作物の製作
(6) 現地への運搬および搬入

(7) 据付け、固定、取付けその他必要な施工

(8) 設置後の調整および確認

(9) その他、本業務の完成に必要な作業

7　設計に関する基本条件

(1) 基本的な考え方

発注者が示す概略寸法、用途、必要な機能および意匠上の条件等を基本として、受注者が現地確認および採寸を行い、設置場所および利用形態に適した詳細設計を行うこと。

本仕様書および別紙に示す寸法のうち「程度」または「参考」として示すものについては、設計の目安となる概略寸法であり、製作寸法を確定するものではない。

受注者は、現地の寸法、既存設備、動線その他の条件を確認したうえで、必要に応じて発注者と協議し、詳細寸法を決定すること。

(2) 発注者との協議

各造作物の詳細な形状、寸法、材料、仕上げ、色彩、納まりその他の仕様については、契約後、受注者が作成する製作図等に基づき、発注者と受注者が協議のうえ決定するものとする。

ただし、当該協議は、本仕様書および別紙に示す用途、必要な機能、概略寸法その他の基本条件の範囲内で行うものとする。

(3) 設計上の配慮

設計に当たっては、次の事項に十分配慮すること。

ア　利用者の安全性

イ　耐久性および維持管理のしやすさ

ウ　施設利用上必要となる動線およびスペースの確保

エ　既存の床、壁、設備等との取り合い

オ　施設全体との意匠上の調和を図るとともに、福井県立大学の情報発信拠点としての用途・性格が来訪者に認識できる意匠とすること

カ　通常の使用において転倒、脱落、著しい変形等が生じない構造

キ　その他、造作物の用途に応じて必要となる事項

8　製作図等の提出および承認

受注者は、契約締結後速やかに現地確認および採寸を行い、各造作物の詳細設計を行うこと。

製作に先立ち、次の内容を確認できる製作図等を発注者に提出し、承認を受けること。

(1) 平面、立面および必要な断面

(2) 各部の形状および寸法

(3) 使用材料

(4) 仕上げおよび色彩

(5) 固定および取付方法

(6) 完成時の意匠、素材感、色彩、サイン等を確認できる完成イメージ図または 3D パース等の資料

(7) その他発注者が必要と認める事項

9　見積金額に含む費用

見積金額には、本業務の完成に必要となる次の費用をすべて含むものとする。

(1) 現地調査および採寸費
(2) 設計および製作図等の作成費
(3) 発注者との協議および調整に要する費用
(4) 材料費
(5) 製作費
(6) 運搬および搬入費
(7) 据付け、固定および取付け費
(8) 養生費
(9) 廃材、梱包材等の撤去および処分費
(10) 諸経費
(11) その他、本業務の完成に必要となる一切の費用

10　提案および仕様の調整

受注者は、本仕様書および別紙に示す基本条件を満たしたうえで、安全性、耐久性、施工性、維持管理性または意匠性等の観点から、より適切と考えられる形状、構造、材料、仕上げ、施工方法等がある場合は、発注者に提案することができる。

提案により本仕様書または別紙に示す内容を変更する必要がある場合は、事前に発注者と協議し、その承認を得ること。

11　搬入および施工

受注者は、搬入および設置に先立ち、搬入経路、作業方法、作業時間その他必要な事項について発注者と調整すること。

作業に当たっては、施設利用者および職員等の安全確保に十分配慮するとともに、床、壁、建具、設備その他の既存物を損傷しないよう必要な養生を行うこと。

既存施設等を損傷した場合は、速やかに発注者へ報告し、受注者の責任において原状回復その他必要な対応を行うこと。

12　完成および検査

受注者は、すべての造作物の設置および調整が完了した後、発注者による完成確認を受けること。

本仕様書、別紙および発注者の承認を受けた製作図等との相違または不具合が確認された場合は、受注者の責任において必要な修正、調整等を行うこと。

13　納品および成果物

本業務の完了に当たり、次のものを納品または提出すること。

(1) 本仕様書および別紙「造作物基本仕様」に定める造作物一式

福井まちなかキャンパスの指定場所に搬入、設置および固定し、発注者の完成確認を受けること。

(2) 各造作物の完成図または最終製作図　一式
(3) 各造作物の完成写真　一式
(4) 各造作物の使用材料、仕上げ等が確認できる資料　一式
(5) 取扱説明書、保証書等（該当する場合）
(6) その他発注者が指示するもの

14　その他

(1) 本仕様書に定めのない事項または疑義が生じた場合は、発注者と受注者が協議のうえ決定する。

(2) 受注者は、契約後速やかに発注者と工程を調整し、履行期限までに業務を完了すること。

(3) 本業務の実施に当たっては、関係法令その他必要な基準等を遵守すること。

(4) 本仕様書、別紙および参考図等の内容について、現地の状況等によりそのまま施工することが適当でないと判断した場合は、受注者は速やかに発注者へ報告し、対応について協議すること。

別紙　造作物基本仕様（イノベーションクロス）

本仕様書は、イノベーションクロスのライブラリコーナーに設置する段床ベンチおよび本棚について、設計・製作・設置に当たっての基本条件を定めるものである。

造作物の設計および製作に当たっては、以下に示す配置、用途および必要な機能・性能を基本条件とするとともに、ライブラリコーナーおよび周辺内装の意匠や空間構成との調和に配慮し、段床ベンチと本棚を一体的に見た際に統一感のある構成とすること。

なお、本仕様書に記載する寸法等は基本的な考え方を示すものであり、詳細寸法、材料、仕上げ、固定方法等は、契約後の現地確認、現地採寸および発注者との協議を踏まえ、受注者が作成する製作図等により決定するものとする。また、造作物は既製品をそのまま設置するものではなく、本業務において新たに設計・製作するものとする。

ア　段床ベンチ

【設置場所】

イノベーションクロス　ライブラリコーナー（別紙平面図参照）

【用途】

学生等の着座、休憩、読書、交流等に利用するための段床型ベンチ。

【概略寸法】

W7,500㎜×D3,800㎜×H1,000㎜ 程度

【形状】

２～３段程度の段床型ベンチとし、平面形状はＬ字型を基本とする。ただし、Ｌ字の角部は直角とせず、各段が緩やかな円弧を描きながら連続する形状を想定する。

具体的な曲線形状、各段の構成、寸法、納まり等については、設置場所の状況および周辺空間との調和を踏まえ、契約後、受注者からの提案に基づき、発注者と協議の上決定する。

【材質】

木質系等を基本とし、主要な外装・意匠部分には天然木を使用することを基本とする。その他の部分については、天然木と同等以上の品質、強度、耐久性および意匠性を有する材料の使用を可とする。詳細は、発注者と協議の上決定する。

【仕上げ・色彩】

周辺内装および本棚と調和する木質感のある仕上げを基本とする。色味、木部の素材・仕上げ等の詳細は協議。

【必要な機能・性能】

・複数人が同時に着座して利用することを想定し、通常の使用による荷重に十分耐えられる強度および剛性を確保すること。着座時に著しいたわみ、揺れ、きしみ等が生じにくい構造とすること。

・段床としての着座性と昇降時の安全性を両立するよう、各段の高さ、奥行き、踏面等を計画すること。具体的な段差寸法は、全体寸法および設置場所の状況を踏まえ、受注者が提案し、発注者と協議の上決定すること。

・段差、端部、角部等について、来訪者の接触や転倒等を考慮し、過度に鋭利な形状を避けるなど安全上必要な配慮を行うこと。

・表面は、通常の使用において滑りにくく、傷、汚れ、変形等が生じにくい仕上げとし、長期間の使用に耐えられる耐久性を確保すること。

・日常的な清掃および維持管理が容易に行えるよう、拭き取りやすい仕上げ・構造とすること。

・段床ベンチ単体で完結するデザインとするのではなく、隣接する本棚およびライブラリコーナー全体との連続性・統一感に配慮した意匠とすること。

【設置・安全対策】

・設置場所の床面、壁面、下地その他の現地条件を確認し、転倒、移動、ずれ等に対する安全性を確保するための適切な固定・設置方法を提案し、発注者と協議の上決定すること。

・床、壁その他既存部分への固定が必要となる場合は、既存仕上げ、下地、設備配管・配線等への影響を事前に確認し、必要な養生および施工上の配慮を行うこと。

【詳細寸法等】

契約後、現地採寸および協議により決定する。

イ　本棚

【設置場所】

イノベーションクロス　ライブラリコーナー（別紙平面図参照）

【用途】

書籍、資料等を配架・展示し、ライブラリコーナーとして利用するための造作本棚。

【概略寸法】

W4,000㎜×D210㎜×H3,700㎜ 程度

【形状】

設置場所および概略寸法を踏まえた造作本棚とする。具体的な形状、棚構成、寸法、納まり等については、周辺空間および段床ベンチとの調和を踏まえ、契約後、受注者からの提案に基づき、発注者と協議の上決定する。

【材質】

木質系等を基本とし、主要な外装・意匠部分には天然木を使用することを基本とする。その他の部分については、天然木と同等以上の品質、強度、耐久性および意匠性を有する材料の使用を可とする。詳細は、発注者と協議の上決定する。

【仕上げ・色彩】

周辺内装および段床ベンチと調和する木質感のある仕上げを基本とする。色味、木部の素材・仕上げ等の詳細は協議。

【必要な機能・性能】

・書籍、資料等の重量を考慮し、通常の使用による荷重に十分耐えられる強度および剛性を確保すること。棚板等に著しいたわみ、ぐらつき等が生じにくい構造とすること。

・配架する書籍、資料等を視認しやすく、かつ手に取りやすい棚構成とすること。棚の高さ、間隔等は、想定する収納物および全体意匠を踏まえ、受注者が提案し、発注者と協議の上決定すること。

・高さ約 3,700㎜ の造作物であることを踏まえ、上部を含む本棚全体について十分な転倒防止措置を講じること。壁面への固定等を行う場合は、壁面および下地の状況を確認し、必要な固定強度を確保すること。

・来訪者が日常的に利用する範囲については、安全に書籍等を出し入れできる構成とすること。高所部分の利用方法および配架方法については、安全性を踏まえ発注者と協議すること。

・棚板、端部、角部等について、来訪者の接触を考慮し、過度に鋭利な形状としないこと。

・通常の使用環境において、傷、汚れ、変形等が生じにくい材料・仕上げとし、長期間の使用に耐えられる耐久性を確保すること。

・日常的な清掃および維持管理が容易に行えるよう、拭き取りやすい仕上げ・構造とすること。

・段床ベンチと一体的に見た際に、ライブラリコーナー全体としてまとまりのあるデザインとなるよう、素材、色彩、納まり等に統一感を持たせること。

【設置・安全対策】

・設置場所の壁面、床面、下地その他の現地条件を確認し、転倒、脱落、移動等に対する安全性を確保するための適切な固定・取付方法を提案し、発注者と協議の上決定すること。

・既存壁面等への固定に当たっては、設備配管・配線、既存仕上げ等への影響を事前に確認し、必要な養生および施工上の配慮を行うこと。

【詳細寸法等】

契約後、現地採寸および協議により決定する。

別紙　造作物基本仕様（FPU BASE）

FPU BASE は、福井県立大学の教育、研究活動等を広く発信するとともに、福井駅周辺を訪れる県民、観光客、学生、受験生等が本学に興味を持ち、気軽に立ち寄ることのできる情報発信拠点として整備するものである。

造作物の設計および製作に当たっては、以下に示す配置、用途および必要な機能・性能を基本条件とし、FPU BASE 全体の意匠や空間構成との調和、各造作物相互の統一感に配慮した設計・製作を行うこと。

なお、本仕様書に記載する寸法等は基本的な考え方を示すものであり、詳細寸法、材料、仕上げ、固定方法等は、契約後の現地確認、現地採寸および発注者との協議を踏まえ、受注者が作成する製作図等により決定するものとする。また、造作物は既製品をそのまま設置するものではなく、本業務において新たに設計・製作するものとする。

ア　パンフレット棚

【設置場所】

FPU BASE A 面（別紙平面図参照）

【用途】

大学案内、入試要項、公開講座案内等の広報物を、来訪者が自由に手に取ることができるようにする。

【概略寸法】

W1,600㎜×D450㎜×H1,200㎜ 程度

【材質】

木質系等を基本とし、主要な外装・意匠部分には天然木を使用することを基本とする。その他の部分については、天然木と同等以上の品質、強度、耐久性および意匠性を有する材料の使用を可とする。また、全体の一部に県産材を使用することとし、使用箇所および樹種等については、発注者と協議の上決定する。

【必要な機能・性能】

・木製を基本とした造作による移動式の展示・収納家具とし、キャスター等を用いて施設内で容易に移動・設置できる構造とすること。

・パンフレット等の広報物を来訪者が視認しやすく、かつ容易に取り出せるよう、展示部分は適度な傾斜を設けるなど、閲覧性・取り出しやすさに配慮した構造とすること。

・A4 サイズ程度のパンフレットを基本とし、合計 12 種類程度の広報物を展示できる容量を確保すること。各広報物の配置方向および棚構成については、縦方向、横方向等を問わないものとする。

・展示する広報物の種類や数量の変更に対応できるよう、棚間隔、仕切り等について一定の調整が可能な構造とすること。

・パンフレット等の補充用在庫を収納できるスペースを設けること。収納部分は、扉、引戸、可動式パネル等を設け、通常時に在庫が外部から見えない構造とすること。

・来訪者が日常的に利用する家具であることを踏まえ、展示物の重量および来訪者による通常の使用による荷重に十分耐えられる強度を有すること。また、棚板、仕切り等についても、たわみやぐらつきが生じにくい構造とすること。

・移動時および設置時の安全性に配慮し、キャスター等を設ける場合は、ストッパー等を備え、通常使用時に不用意に移動しない構造とすること。

・角部については、来訪者の接触等を考慮し、過度に鋭利な形状としないこと。

・日常的な清掃が容易に行えるよう、埃やごみが溜まりにくく、拭き取りやすい仕上げ・構造とすること。
・通常の使用環境において、傷、汚れ、変形等が生じにくい材料・仕上げとし、長期間の使用に耐えられる耐久性を確保すること。
・棚板、仕切り、扉等の各部について、日常的な使用およびメンテナンスを考慮し、必要に応じて交換・調整等が可能な構造とすること。
・本学および福井県を象徴する要素として、恐竜等のモチーフを取り入れ、一般的なパンフレット棚とは異なる特徴的な意匠とすること。パンフレットの展示・収納機能を損なわない範囲で、棚本体の構造・形状の一部に恐竜を想起させる形状、シルエット、意匠等を取り入れるなど、来訪者の目を引き、FPU BASE の印象的なアクセントとなるデザインを提案すること。具体的な形状、配置、素材・加工方法等については、発注者と協議の上、決定すること。
・施設全体の内装・家具等の意匠と調和する、木質感のある質感・仕上げとすること。色味、木部の素材・仕上げ等については、FPU BASE 全体のデザインとの統一感に配慮すること。
・本学名および本学を象徴する柄等を、棚・展示家具の木製部分に表示すること。表示する文言、柄、表示位置、文字サイズ、書体および表示方法等については、発注者と協議の上、決定すること。表示にあたっては、木材の質感を活かすとともに、FPU BASE 全体の意匠との調和に配慮し、過度に装飾的な印象とならないよう留意すること。

【設置・安全対策】

・設置場所の床面等の状況を踏まえ、転倒、移動等に対する安全性を確保するための適切な方法を提案し、発注者と協議の上、決定すること。

【詳細寸法等】

契約後、現地採寸および協議により決定する。

イ　学部紹介ブース

【設置場所】

FPU BASE D 面（別紙平面図参照）
D 面の壁面に沿って 6 台を設置する。背面側を壁面に沿わせて設置するものとする。

【用途】

6 学部（経済学部、生物資源学部、海洋生物資源学部、看護福祉学部、恐竜学部、地域政策学部）の教育・研究内容等を紹介・発信するための展示スペース。

【概略寸法】

各ブース：W1,000mm×D450mm×H2,000mm 程度

【材質】

木質系等を基本とし、主要な外装・意匠部分には天然木を使用することを基本とする。その他の部分については、天然木と同等以上の品質、強度、耐久性および意匠性を有する材料の使用を可とする。詳細は、発注者と協議の上決定する。

【必要な機能・性能】

・学部紹介ブースは、6 台の独立したブースを横一列に配置することを基本とし、各ブースがそれぞれ独立した学部紹介スペースとして視認できる構成とすること。また、6 台全体としても、FPU BASE 全体の意匠と調和した統一感のあるデザインとすること。
・各ブースには、木材の表面等に学部名を表示し、来訪者が視認しやすい位置に明示すること。表示方法、文字サイズ、書体等については、FPU BASE 全体の意匠との調和を考慮し、発注者と協議の上決定すること。

・各ブースの正面に、32 型デジタルサイネージ（W708㎜×H399㎜ 程度）を造作家具と一体的に設置すること。なお、デジタルサイネージは発注者が別途調達するものとする。
・デジタルサイネージに接続する電源・映像・通信等の配線については、原則としてブース内部に納め、通常時に外部から配線等が見えない構造とすること。なお、接続機器については発注者が別途調達するものとする。
・デジタルサイネージは、造作家具と一体的に納めつつ、将来的な故障・更新等に際してデジタルサイネージ単体で交換できる構造とすること。交換・保守作業が容易に行えるよう、造作物本体を大幅に解体することなく、前面から機器を取り外し・交換できる構造とすること。また、機器の外形寸法および取付方法を踏まえ、将来的に同等機器への交換が可能となるよう、必要な取付スペースおよび作業スペースを確保すること。
・デジタルサイネージおよび接続機器等の設置にあたっては、機器の発熱を考慮し、必要な放熱・通気を確保すること。
・来訪者が各ブースの情報を視認しやすいよう、デジタルサイネージの設置位置、高さ、向き等に配慮すること。

【設置・安全対策】

・設置場所の床面等の状況を踏まえ、転倒等に対する安全性を確保するための適切な方法を提案し、発注者と協議の上、決定すること。

【詳細寸法等】

契約後、現地採寸および協議により決定する。

ウ　福井県マップ

【設置場所】

FPU BASE D 面（別紙平面図参照）
D 面の壁面に取り付けるものとし、福井県マップの下端が床面から 2,000㎜ 以上の高さとなる位置に設置する。

【用途】

福井県の地図上に、本学の 6 キャンパスの位置を示し、各キャンパスの所在地や位置関係を来訪者に分かりやすく紹介するためのマップ。

【概略寸法】

福井県マップ部分：W2,000㎜×H1,000㎜ 程度
※キャンパス名称一覧の表示部分は含まない。

【材質】

木質系等を基本とし、主要な外装・意匠部分には天然木を使用することを基本とする。その他の部分については、天然木と同等以上の品質、強度、耐久性および意匠性を有する材料の使用を可とする。詳細は、発注者と協議の上決定する。

【必要な機能・性能】

・福井県全域の地図を表示し、福井県立大学の 6 キャンパスの位置を示す掲示板とすること。6 キャンパスの位置および名称がそれぞれ視認しやすく、来訪者が各キャンパスの位置関係を直感的に把握できる構成とすること。
・6 キャンパスの名称については、福井県の地図に加え、地図に隣接する位置に一覧表示すること。キャンパス名は日本語表記と英語表記を併記し、両者を縦方向に配置する等、来訪者が各キャンパスを容易に確認できる構成とすること。
・6 キャンパスの名称一覧については、発注者が別途製作した Illustrator 等のデザインデータを支給するものとし、受注者は、支給されたデータを使用して、木質系等の盤面に表示すること。印

字、切文字、レーザー加工その他の表示方法については、支給データの意匠および木材の質感を活かし、FPU BASE 全体の意匠との調和を考慮した方法を提案し、発注者と協議の上決定すること。

・6 キャンパスの位置表示は、地図上で明確に識別できるものとすること。地図上の位置表示と、地図に隣接して表示するキャンパス名称一覧との対応関係が分かりやすい構成とすること。

・福井県の地図、6 キャンパスの位置表示およびキャンパス名称一覧を一体的にデザインし、FPU BASE 全体の意匠と調和した統一感のあるデザインとすること。福井県の地図および 6 キャンパスの位置表示のレイアウト、文字サイズ、表示方法等については、FPU BASE 全体の意匠との調和および視認性を考慮したデザインを提案し、発注者と協議の上決定すること。

・来訪者が立った状態から視認しやすい高さおよび角度等に配慮して設置すること。また、地図、キャンパス名称および位置表示等が遮られることなく確認できる構成とすること。

・将来的なキャンパス名称、位置表示等の更新・修正を考慮し、表示部分を容易に交換・更新できる構造とすること。交換・更新に当たっては、マップ本体の大幅な解体・加工を必要としないこと。

【設置・安全対策】

・設置場所の状況を踏まえ、落下等に対する安全性を確保するための適切な方法を提案し、発注者と協議の上、決定すること。

【詳細寸法等】

契約後、現地採寸および協議により決定する。

エ　教員著書展示用棚

【設置場所】

FPU BASE 中央（別紙平面図参照）

【用途】

本学教員の著書を展示し、来訪者に本学の教育・研究活動を紹介するための展示スペース。

【概略寸法】

W1,600㎜×D600㎜×H1,200㎜ 程度

【材質】

木質系等を基本とし、主要な外装・意匠部分には天然木を使用することを基本とする。その他の部分については、天然木と同等以上の品質、強度、耐久性および意匠性を有する材料の使用を可とする。また、全体の一部に県産材を使用することとし、使用箇所および樹種等については、発注者と協議の上決定する。

【必要な機能・性能】

・木製を基本とした造作による移動式の展示・収納家具とし、キャスター等を用いて施設内で容易に移動・設置できる構造とすること。

・著書等を来訪者が視認しやすく、かつ容易に手に取れるよう、表紙等が見えやすい展示構成とし、展示部分は適度な傾斜を設けるなど、閲覧性・取り出しやすさに配慮した構造とすること。

・A5 判（約 148㎜×210㎜）から B5 判（約 182㎜×257㎜）程度の著書を基本とし、20 冊程度を表紙が見える状態で、著書同士に適度な間隔を設けて展示できる容量を確保すること。各著書等の配置方向および棚構成については、縦方向、横方向等を問わないものとする。

・展示する著書等の種類や数量の変更に対応できるよう、棚間隔、仕切り等について一定の調整が可能な構造とすること。

・来訪者が日常的に利用する家具であることを踏まえ、展示物の重量および来訪者による通常の使用による荷重に十分耐えられる強度を有すること。また、棚板、仕切り等についても、たわみやぐらつきが生じにくい構造とすること。
・移動時および設置時の安全性に配慮し、キャスター等を用いる場合は、ストッパー等を備え、通常使用時に不用意に移動しない構造とすること。
・角部については、来訪者の接触等を考慮し、過度に鋭利な形状としないこと。
・日常的な清掃が容易に行えるよう、埃やごみが溜まりにくく、拭き取りやすい仕上げ・構造とすること。
・通常の使用環境において、傷、汚れ、変形等が生じにくい材料・仕上げとし、長期間の使用に耐えられる耐久性を確保すること。
・棚板、仕切り等の各部について、日常的な使用およびメンテナンスを考慮し、必要に応じて交換・調整等が可能な構造とすること。
・施設全体の内装・家具等の意匠と調和する、木質感のある質感・仕上げとすること。色味、木部の素材・仕上げ等については、FPU BASE 全体のデザインとの統一感に配慮すること。
・本学名および本学を象徴する柄等を、棚・展示家具の木製部分に表示すること。表示する文言、柄、表示位置、文字サイズ、書体および表示方法等については、発注者と協議の上、決定すること。表示にあたっては、木材の質感を活かすとともに、FPU BASE 全体の意匠との調和に配慮し、過度に装飾的な印象とならないよう留意すること。
・中央に設置する展示什器として、周囲からの視認性および意匠性に配慮するとともに、空間の中心的な展示什器として存在感のあるデザインとすること。

【設置・安全対策】

・設置場所の床面等の状況を踏まえ、転倒、移動等に対する安全性を確保するための適切な方法を提案し、発注者と協議の上、決定すること。

【詳細寸法等】

契約後、現地採寸および協議により決定する。

【別紙　平面図】

（アオッサ１階）

